

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2019年10月10日

世界を変えよう、私たちの声と行動で



16人が参加して 恒例の6・9行動 ..終了後に小樽原水協幹事会

「漢字書けないよ～」のSOS、「まだ引っ越してきたばかりだから住所よくわからないんだ」と14歳の少年に、「2年前に引っ越してきたのに」と16歳の少年が突っ込みをいれながら二人でしっかり署名しました(写真右)。「国連に届ける署名です」の呼びかけに、「ハイ」と快く足をとめる女性、東京から来た男性は小樽が故郷ですと署名するなど、行動参加者から反応いいねとの声が聞かれました。

気温がぐーっと下がった夕方5時半から30分間の6・9行動、全生連、年金者組合、金融労連、平和委員会、新婦人、共産党はじめ構成団体から16人が参加、署名が26人から寄せられました。

幹事会では、北海道原水協の「意見広告ポスター運動」に取り組むことを決め早速加盟団体に働きかけること、2020年NY行動代表派遣について今後検討することなどを決めました。



「戦争で東京から北海道に逃げてきた・・戦争は絶対いや！」

私は戦争を体験したから戦争は絶対にいやと話しながら署名する女性、外国人だからと、「いやいやチャイナOK」と言う中国の観光客もサイン。9日の昼に札幌市内中央区パルコ前で6・9行動&「9の日行動」を北海道原水協と北海道憲法センターで行いました。ヒバクシャ署名16人、被爆者援護連帯募金1000円が寄せられました。

北の被爆者が“核兵器をなくそう”と決意を

6日札幌市内で日本被団協相談事業講習会が開かれました。眞田保北海道被爆者協会会長は「2020年核兵器のない世界が実現することを祈念します」と開会挨拶。講習会の最後に、世界大会ナガサキデー集会で参加者が掲げたプラカードを笑顔で、決意を込めて掲げました(写真右)。2020年NY行動には北海道被爆者協会から二人が参加を希望しています。

